

目標：救われたのにふさわしい生き方の一例として、分け隔てなく救われたのだから、人をえこひいきしないことだと知り、主のお姿から自分がすべきことを学べることを知る。

聖句：「あなたがたは私たちの栄光の主イエス・キリストを信じる信仰を持っているのですから、人をえこひいきしてはいけません」（ヤコブ書2:1(新改訳)

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：悪平等という言葉もあるように、種々の見方が「平等」にはある。それに対し聖書が語ることを子供たちに私達の基本線として示すため、聖書をそのまま伝えるよう留意する。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	今日の御言葉をまず読んでみましょう。 2～3節を、教師が実演する。 皆だったらどう思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・いやだ ・うれしい 	<p>2:1の内、最初の「私の兄弟たち」は省いた。冗長に感じるからである。</p> <p>読むだけでは興味を保てない。一言一句その通りである必要はないので、大意を掴み、演技を交える。</p> <p>先の返事が来ないならば、自分がそうされたらどうかと問う。立派な服装の人の側に焦点が当たれば、この答えもありうる。その際には、貧しい人に意を向けさせる。</p> <p>本来的に、皆を立派な服装の人のように迎えるべきである。それに気づく子がいるかもしれないが、気づかない子が大部であろう。まとめの時にその意見は拾うようにし、課題確認では流す。</p>
課題探究	6分	なぜいけないと思いますか。 聖書は、こう言っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・平等にしないから ・イエス様が私たちを分け隔てなく救って下さるのに、自分がそうしないから。 	<p>皆が嫌だと思うようなことはいけない事だろうとして、進める。</p> <p>紋切り型の答えで満足せず、イエス様との関連で考えさせていきたい。</p> <p>この答えがすぐに出るとは思えない。それでも多くのヒントを与えて、自分たちの口からこの答えを引き出したい。</p> <p>4～6節bまでを読む。それ以降は、彼らには難しいと思うので、この後も続いていきますとだけのべる。</p> <p>御国や、相続など難しい言葉は、簡単に説明しながら読む。リビングバイブルなどを活用するとよい。</p>
まとめ	2分	イエス様を救い主として迎えた人は、イエス様のなされたようにことをしていきます。イエス様が人を分け隔てしなかったように、私達も人を分け隔てしないのです。 イエス様のようにできる力を与えて下さるのが聖霊様です。 この福音を、自分だけでなく、他の人にも伝えてほしいと思います。 暗誦聖句		<p>まとめとしては長いですが、イエス様のようにを強調したい。</p> <p>人を差別しないことは、実行するうえでいくつもの問題があり、社会問題でもある。それにコメントすることは避け、彼らに基本理念を伝えることに集中したい。</p> <p>ペンテコステへの期待と、次項への橋渡しとして挿入する。</p> <p>185号テキストのテーマからの反映として、この信仰に立たせたい。</p>